

令和5年度 家庭科 「家庭基礎」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年A～G組
教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)	副教材等	2023 生活学Navi (実教出版)

1 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
4	家庭科を学ぶにあたって	家庭科を学ぶにあたって	・家庭基礎を学ぶにあたって、学習の意義や内容・方法・評価について理解する。	
	第2章 自分らしい生き方と家族	1節 自立と共生 2節 ライフキャリア	・今の自分について自己分析を行い、未来予想図を描く。	授業プリント
	第7章 衣生活をつくる	1節 人と衣服のかかわり	・季節ごとの着こなしについて考える。 ・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服について知り、人はなぜ衣服を着るのか考える。 ・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。	授業プリント
		2節 衣服の素材の種類と特徴	・快適な衣服の特徴や機能について考える。	思考判断表現シート
3節 衣服の選択から管理まで		・暮らしの中での衣服素材の性能と改善について学ぶ。 ・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。	洗濯レポート 被服製作実習	
5	第10章 経済的に自立する	5節 衣服の構造・デザイン	・小物を製作する	
		1節 暮らしと経済	・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。	授業プリント
			・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 ・適切な家計管理について考える	思考判断表現シート
2節 将来のライフプランニング	・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。			
6	第9章 消費行動を考える	1節 消費行動と意思決定	・主体的な消費行動について多角的に考える。 ・情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。	授業プリント 思考判断表現シート
		2節 消費生活の現状と課題	・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決する方法を考える。	
		3節 消費者の権利と責任	・消費者被害の事例を調べ、消費者の権利と責任を考える。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。	
7	第8章 住生活をつくる	1節 人間と住まい	・生活と住まいの機能とのかかわりについて考える。 ・気候風土と住まいとの関係、そこでの人間の営みとの関係を考える。	授業プリント
		2節 住まいの文化	・和風木造住宅の空間的な特性や工夫をまとめる。	
		3節 住まいを計画する	・ライフステージによる住まいの変化について考える。	
8	ホームプロジェクト	ホームプロジェクト	・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。	ホームプロジェクト
			・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。	
9	ホームプロジェクト発表会	ホームプロジェクト発表会	・ホームプロジェクトで実施した内容について相互発表を行う。	ホームうプロジェクト発表相互評価シート
	第8章 住生活をつくる	4節 健康に配慮した快適な室内環境	・室内環境と健康のかかわりを考える。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を学ぶ。	授業プリント
			第2回考査	

9 10 11	第6章 食生活をつくる	第6章 食生活をつくる 1節 日本の食文化の形成	・日本の食文化形成を知り、郷土料理について調べる。	授業プリント
		2節 私たちの食生活	・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。 ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。	思考判断表現シート 調理実習
		3節 栄養と食品のかかわり	・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。	調理実習レポート
		4節 食品の選び方と安全	・旬の食材を考え、旬の時期がなぜよいか学ぶ。 ・食品衛生（食品の選択、食中毒、食品添加物）について学ぶ。	
		5節 食事の計画と調理	・食事摂取基準、食品群別摂取量などを用い、家族の献立作成を行う。 ・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	
12	第2章 自分らしい生き方と家族	第2章 自分らしい生き方と家族 1節 自立と共生	・青年期の特徴について学ぶ。 ・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。	授業プリント 思考判断表現シート
		3節 共に生きる家族	・「家族」の条件とは何か考える	
		4節 家族に関する法律	・家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめて話し合う。 ・家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。	
		第3章 子どもとかかわる	第3章 子どもとかかわる 1節 子どもとは	・青年期の健康を学ぶことで、次世代を担う子どもを育て、はぐくんでいくことの責任感を養う。
1	第3章 子どもとかかわる	2節 子どもの発達	・子どもの発達について考える。 ・子どものからだの成長のようすを学ぶ。	製作・調理実習
		3節 子どもの生活	・子どものころを振り返ることで、基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の身につけ方を学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活、安全管理について学び、子どもとかかわれるようにする	
		第4章 高齢者とかかわる	第4章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる	・これまでの高齢者とかかわりを振り返る ・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。
2	第4章 高齢者とかかわる	2節 高齢者を知る	・高齢者についてのイメージをまとめる。 ・高齢者の生活場を体験する ・高齢者と家族とかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考える。	実習レポート
		3節 高齢者の自立を支える	・要介護の高齢者との接し方を考える。 ・高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 ・日常生活の介助を体験する。	
		4節 高齢社会を支えるしくみ	・高齢者施設での利用者の過ごし方、どんな人が働いているかについてまとめる。 ・介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考える。	
		第5章 社会とかかわる	1節 支えあって生きる	・人の一生と社会福祉とかかわりをイメージすることで、「福祉」の意味について考える。 ・社会保障制度のしくみを踏まえて将来に向けての課題を考える。
第4回考査				

3 評価の観点

知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
学びに向かう態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

4 評価の方法

考査の成績、プリント・レポートの内容や取り組み状況、作品への取り組みや内容、学習活動へ参加態度を、知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点に分類し、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

- ・通常、授業は教室で行いますが、実験・実習の際には調理室または被服室で行います。授業開始に遅れないように移動してください。
- ・授業はプリントを配布して学習しますので、管理を確実にしてください。
- ・火気や危険物を扱います。指示に従って十分注意してください。